

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 大泉町社会福祉協議会

平成30年度 社会福祉法人大泉町社会福祉協議会事業報告

1 地域福祉の推進

核家族化や高齢化、家族のあり方の変容、近所づきあいの希薄化により、地域での孤立化が危惧される状況となっており、地域でのつながりづくりが一層重要となってきた。そこで、地域福祉活動計画の期間が満了することから、平成30年度より「第二次地域福祉活動計画」を5年計画で策定し、より地域福祉推進を図るため、活動内容の見直しや新たな事業提案を行いました。

また、高齢者、障害者、ひとり親家庭、低所得世帯等の複雑多様化する福祉課題に対し、生活支援サービスの確保と充実を図り、ボランティア活動、福祉団体等の支援、福祉教育の推進を図り、第二次地域福祉活動計画の基本理念である『みんなで手をつなぎ、広げる笑顔の輪 おおいずみ』の実現に努めました。

(1) 法人運営

法人組織の強化、事業運営の透明性の向上等に取り組み、地域に信頼される運営を行うとともに、社会福祉法人間の連携を図り、地域における公益的な取り組みを推進できる体制づくりに努めました。

さらに、役職員研修会の実施や専門研修に参加し、役職員の資質及び専門性の向上を図りました。

①理事会、評議員会、監事会、第三者委員会等の開催

開催名	開催日	出席者
第1回理事会	平成30年 5月23日 (水)	11人
第2回理事会	平成30年 8月21日 (火)	10人
第3回理事会	平成30年10月17日 (水)	10人
第4回理事会	平成30年12月17日 (月)	11人
第5回理事会	平成31年 3月27日 (水)	11人
第1回評議員会	平成30年 6月15日 (金)	22人
第2回評議員会	平成30年12月18日 (火)	24人
第3回評議員会	平成31年 3月28日 (木)	19人
監事会	平成30年 5月17日 (木)	2人
苦情解決第三者委員会	平成30年 5月17日 (木)	2人
評議員選任・解任委員会	平成30年 5月23日 (水)	5人
正副会長会議	平成30年 5月23日 (水)	3人

②会員募集の実施

一般会費	2,882,300円 (約9,608世帯)
賛助会費	2,159,000円 (約1,080口)
特別会費	510,000円 (51口)

③役職員研修会への参加及び研修会の開催 (研修会へ参加)

研修内容	開催日	参加者
生活福祉資金貸付事業担当者研修会	平成30年4月11日 (水)	1人
群馬県内職員連絡協議会フォローアップ研修	平成30年6月26日 (火)	2人
市町村社協会長研修	平成30年7月11日 (水)	1人

第 55 回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	平成30年7月12～13日	2人
ボランティアコーディネーター研修	平成30年8月21日(火)	1人
「地域の多様な課題に対応した地域配分を考える」勉強会	平成30年9月12日(水) 平成30年11月14日(水)	1人
コミュニティソーシャルワーク研修会	平成30年9月18・19日	1人
市町村社協会長研修	平成30年9月26～27日	1人
見守り支援セミナー	平成31年2月7日(木)	2人
市町村社協トップセミナー	平成31年2月13日(水)	1人
市町村社協事務継続計画(BCP)策定研修会	平成31年2月18日(月)	1人
邑楽郡社会福祉協議会連絡協議会研修会	平成31年2月22日(金)	3人

(職員研修会の開催)

内 容	開催日	参加者
第二次大泉町地域福祉活動計画について	平成30年4月26日(木)	17人
知的障がいと自閉症について	平成30年11月28日(水)	25人

④適正な会計処理の実施

研修内容	開催日	参加者
市町村社会福祉協議会経理研修会	平成30年8月22日(水)	1人

(2) 企画広報事業

社協だよりやホームページ等の活用により様々な世代が情報を得られるような仕組みを構築し、住民に本会の事業内容を一層周知するとともに、地区社協やボランティア団体など多くの関係者の活動を紹介することで地域福祉活動への住民参加の促進を図りました。

また、福祉に関する各種事業(イベント等)の開催などの啓発事業を実施し、町内で様々な福祉活動に携わってこられた方々の功績を称えるため社会福祉大会を開催しました。

広報紙「社協だより」の発行 ※「ぼらんていあ」と合同発行	
発行回数	「社協だより」毎月発行
発行部数	142,880部
ホームページの随時更新	
更新時期	毎月1回の定期更新の他、必要に応じて随時更新
社会福祉大会の開催(保健福祉まつり) ※大泉町と共催事業	
開催日	平成30年11月17日(土)～18日(日)
表彰状受賞者	51人(介護職員等永年勤続表彰者17人含む)
感謝状受賞者	20人・6団体
大会内容	式典、作品展示、模擬店
戦没者追悼式・平和祈念碑除幕式の開催 ※大泉町と共催事業	

開催日	平成30年9月29日(土)
開催場所	城之内公園英霊塔前
参加人数	84人(町・社協役員含む)

(3) 地域福祉・地区社協事業

「第二次大泉町地域福祉計画・第二次大泉町地域福祉活動計画」に関する説明を関係団体に行い、計画を広く広報し理解してもらうとともに、地域ぐるみの支えあい、助けあいの推進に努めました。また、地区社協の活動を支援するため、活動費の助成だけでなく、講演会や研修会を通じて新たな事業の提案や情報の提供を行いました。

①第二次大泉町地域福祉計画・第二次大泉町地域福祉活動計画に関する広報活動

概要版全戸配布

ホームページ掲載(全文ダウンロード可能)

おおいずみ市民活動フェスティバルでの広報活動(パネル展示)

②地区社協長連絡会議の開催

開催日	出席者
平成30年4月5日(木)	29人
平成30年8月6日(月)	26人
平成31年2月20日(水)	29人

③地区社協の組織確立と活動の支援

地区社協活動費補助

地区	30地区
補助金額	2,510,700円 (一般会費分 1,921,200円) (賛助会費分 538,500円) (特別会費分 51,000円)

モデル地区指定事業

指定地区	第2区、第3区
指定金額	200,000円(1地区100,000円)
指定期間	平成28年度から平成30年度
未指定地区	14地区/30地区

④いきいきふれあいサロン事業の実施

(サロン指定事業)

指定地区	第26区
指定金額	50,000円
指定期間	平成29年度から平成30年度
未指定地区	8地区/30地区

(研修会へ参加)

開催日	平成30年10月2日(火)
開催内容	東部ブロックふれあい・いきいきサロン研修
参加者	地区社協長等

⑤高齢者訪問

実 施 日	平成30年9月7日(金)
対 象 人 数	128人(90・95歳の高齢者に記念品贈呈)

⑥ひとり暮らし高齢者おせち料理配布事業の実施

実 施 日	平成30年12月31日(月)
対 象 者	70歳以上のひとり暮らし高齢者
配 食 数	829食

⑦ひとり親家庭のつどいの開催

実 施 日	平成31年3月16日(土)
実 施 場 所	東京ディズニーシー
参 加 人 数	24人

⑧生活支援事業実施に向けた調査・研究

(生活支援体制整備事業に関する勉強会の参加)

開 催 日	平成30年 6月19日(火) 平成30年 7月 6日(金) 平成30年 8月 2日(木)
開 催 内 容	生活支援体制整備における協議会設置に向けた勉強会

(生活支援体制整備事業に関する第2層協議体準備会等の参加)

西 中 学 校 地 区	協議体設置準備会等 全5回
南 中 学 校 地 区	協議体設置準備会等 全7回
北 中 学 校 地 区	協議体設置準備会等 全3回

(生活支援体制整備事業に関する講演会等へ参加)

開 催 日	平成31年3月19日(火)
開 催 内 容	第1層協議体会議 講演会「おたがいさまの地域を育むために」 第2層交流会

(研修会へ参加)

開 催 日	平成30年11月30日(金)
開 催 内 容	地域の住民の生活に必要な移動外出支援について考えるフォーラム
事 例 発 表	NPO法人よりきど暮らしの会

⑨朗読CDの配付

内 容	「広報おおいずみ」をCDに録音し配付
利 用 人 数	視力障害者 2人
実 施 回 数	24回
協 力 団 体	大泉朗読の会ベビーヴォイス

⑩車いすの貸し出し

貸 出 件 数	66件
---------	-----

(4) ボランティアセンター事業

地域のボランティアの状況把握（登録や育成、需要調整等）を行うとともに、ボランティア啓発事業を開催し、新たな活動者の増加に努めました。

本年度は初の試みとして、広く市民活動への理解を深め、地域づくりなどの活動に関心を持つ団体や住民が積極的に参画し、市民活動団体同士の交流や情報交換の促進、市民活動を「知る・見る・体験する」ためのきっかけづくりとなることを目的とし、「第1回おおいずみ市民活動フェスティバル」を開催しました。

また、ボランティア養成のため、各種講座を開催するとともに、「傾聴ボランティア養成講座」を3町（千代田町・大泉町・邑楽町）社協合同で開催し、ボランティア活動者養成のための支援も行いました。

①おおいずみ市民活動フェスティバルの開催

内 容	ステージ発表・ブース展示・多文化体験・物品販売・ワークショップ
開 催 日	平成31年3月3日（日）
開 催 場 所	大泉町文化むら
参 加 団 体	28団体
参 加 人 数	おおよそ300人

②ボランティアグループ育成援助

ボランティア団体活動補助金の交付	
補 助 団 体	28団体
補 助 金 額	504,000円

③ボランティア講座の開催

傾聴ボランティア養成講座 ※邑楽町社協、千代田町社協と共催事業	
実 施 日	平成30年6月26日・7月3日・10日の3日間
実 施 場 所	邑楽共同福祉施設
参 加 人 数	29人（大泉町6人）
家族DEボランティアスクール	
開 催 日	平成30年8月25日（土）
見 学 場 所	JICA 地球ひろば、東京臨海広域防災公園
参 加 人 数	17人
そば打ち体験講座（障害児者体験講座）	
開 催 日	平成30年10月28日（日）
開 催 場 所	古氷公民館
参 加 人 数	11人
レクリエーション講習会	
開 催 日	平成31年3月12日（火）
開 催 内 容	コミュニケーションを深め、心と体をリラックス サロンでやってみたいレクリエーション

開催場所	大泉町公民館 ホール
参加人数	89人

④ボランティアセンター相談・あっせん事業の推進
(相談・あっせん)

相談件数	87件
あっせん件数	81件

(ボランティア登録者数)

個人	17人
団体	46団体 1,766人

⑤ボランティア保険加入促進

受付件数	63件
掛金補助人数	386人
補助額	135,100円

⑥広報紙「ぼらんていあ」の発行 ※「社協だより」と合同発行

発行回数	「ぼらんていあ」毎月発行
発行部数	14,2880部

⑦エコキャップ収集運動

回収箱設置場所	8箇所 (役場・保健福祉総合センター・体育館・いずみの杜・老人福祉センター・町公民館/南別館、図書館)
回収実績	1,592.0kg (約684,560個) →ポリオワクチン796.0人分

※今年度より回収先をより還元率の高いリサイクル業者へ変更

⑧ボランティア協議会活動支援

協議会活動にかかる費用の助成・活動の支援を事務局として行いました。

⑨被災地への職員派遣

広島県安芸郡坂町への職員派遣	
派遣期間	平成30年8月17～23日
派遣内容	災害ボランティアセンター運営支援業務
派遣人数	1人

(5) 福祉教育推進事業

学校との連携を強化するとともに、福祉体験学習等を積極的に実施し、福祉教育の推進を図りました。

①福祉協力校の指定

福祉協力校指定	7校 (町内全小中学校)
指定期間	3年間

②児童・生徒のボランティア活動普及事業の地域指定

事業推進校指定	3校 (町内中学校)
---------	------------

指 定 期 間	平成30年度～令和2年度
---------	--------------

③福祉体験学習の実施

対 象	町内小中学校
実 施 回 数	13回
実 施 内 容	手話・点字・車いす・ブラインドウォーク体験
協 力 団 体	手話サークルはるにれの会・大泉点字の会・福祉体験サポートさくら

④小中学生ふくし作文・ポスターコンクールの実施

対 象	町内小中学生
応 募 数	小学生（作文の部） 64作品 （ポスターの部） 39作品 中学生（作文の部） 229作品 （ポスターの部） 132作品

※大泉町、大泉町教育委員会と共催事業

⑤介護体験教室の開催

開 催 期 日	平成30年8月24日（金）
開 催 内 容	デイサービスへようこそ
対 象	町内中学校生徒（3校）
参 加 人 数	23人

※大泉保育福祉専門学校と共催

⑥北小学校放課後こども教室の実施

実 施 期 日	平成30年9月10日（月）
実 施 内 容	社協の紹介クイズ・防災工作・防災ゲーム
対 象	北小学校児童
参 加 人 数	31人

(6) 福祉団体育成支援事業

福祉団体活動にかかる費用の助成、団体事務局として活動の継続支援を行いました。

- ①遺族会活動支援
- ②更生保護女性会活動支援
- ③心身障害児者療育父母の会活動支援
- ④保護司会大泉支部活動支援
- ⑤母子会活動支援
- ⑥老人クラブ活動支援

(7) 生活支援事業

関係機関（相談支援機関）との連携を深めるとともに、既存の制度・サービスを活用しながら相談支援に関する取り組みを行い、住民福祉の充実に努めました。

事業実施内容	実 績
福 祉 相 談 事 業	相 談 件 数 400件

小口生活資金貸付事業	貸付件数	18件
通学補給金事業	対象人数	5人 (新入学2人)
日常生活自立支援事業	利用件数	16件
学生服リユース事業	学生服等寄贈件数	10件
	学生服等無償提供件数	7件
法外援護事業	利用件数	1件

(8) 共同募金配分事業

共同募金（一般募金、歳末募金）からの配分金を財源として、各福祉事業費や生活困窮世帯等への支援として活用し、住民福祉の充実を図りました。

① 高齢福祉事業の実施

ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

実施内容	毎週1回、地区社協長・ボランティア等の協力により、牛乳等を持参して訪問激励
対象者	75歳以上のひとり暮らし高齢者
延べ対象人数	4,453人

② 障害福祉事業の実施

障害者等紙おむつ支給事業

支給月	4・7・10・1月
配布内容	平型、パンツタイプ、テープ式
対象者	在宅障害者で紙おむつ使用者
延べ利用人数	27人

③ 歳末たすけあい運動の実施

歳末たすけあい運動実施会議の開催

歳末たすけあい運動事前会議・・・1回

地区社協長・民生委員合同会議・・・1回

歳末施設入所者見舞

実施日	平成30年12月21日（金）
見舞先	14ヵ所
対象人員	137人
見舞金額	274,000円
見舞参加者	13人

歳末たすけあい見舞金

対象人員	442人
見舞金額	1,400,000円

歳末地域福祉サービス事業

実施地区	16地区
助成金額	599,901円

(9) 福祉サービス受託事業

大泉町及び群馬県社協から委託を受け、高齢者、障害者、低所得者等福祉サービス事業を実施し、住民福祉の充実を図りました。

①ひとり暮らし高齢者給食サービス事業

実 施 日	土・日・祝日を除く毎日
実 施 回 数	243回
配 食 数	9,109食
利 用 人 数	56人(男25人、女31人)

※大泉町委託事業

②ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業

支 給 月	4・7・10・1月
配 布 内 容	平型、パンツタイプ、テープ式
対 象 者	在宅ねたきり高齢者等で紙おむつ使用者
延 べ 利 用 人 数	641人

※大泉町委託事業

③いづみ福祉号(車イス乗降車2台)の貸出

貸出内容	件 数
通 院	132件
外 出	33件
入 退 院	0件
合計件数	165件

※大泉町委託事業

④手話奉仕員養成講座の実施

(入門課程)

実 施 期 日	平成30年5月9日～11月7日(全25回)
実 施 場 所	千代田町総合福祉センター
対 象	大泉町・邑楽町・千代田町のいずれかに在勤・在学し、全日程に出席でき、手話に興味のある方
参 加 人 数	19人(大泉町4人)

(基礎課程)

実 施 期 日	平成30年5月9日～11月7日(全25回)
実 施 場 所	千代田町総合福祉センター
対 象	大泉町・邑楽町・千代田町のいずれかに在勤・在学し、全日程に出席でき、入門課程等を修了した方
参 加 人 数	11人(大泉町5人)

※大泉町委託事業

※邑楽町社協、千代田町社協と共催事業

⑤生活福祉資金等貸付事業の相談、支援

相談件数、相談時間

来 所	電 話	その他	合 計
56件	45件	4件	105件

貸付件数

緊急小口資金	教育支援資金	合 計
4件	2件	6件

※群馬県社協委託事業

2 介護サービス事業の経営

利用者が、その有する能力に応じて、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるよう、居宅介護支援事業を実施しました。

居宅介護支援事業

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法、その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、介護支援専門員（ケアマネジャー）によるサービスの提供に努めました。また、研修会等へ参加し職員の専門性の向上に努めました。

実施内容	延べ利用件数
居宅介護支援 { 要介護1 (595件) 要介護2 (407件) 要介護3 (262件) 要介護4 (161件) 要介護5 (85件)	1,510件
介護認定調査	143件
介護予防居宅介護支援	231件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	323件

（研修会へ参加）

研修名	日 程	参加数
ケアマネジメント研修会	平成30年 5月22日（火）	各2人
	平成30年 8月23日（木）	
	平成31年 1月16日（水）	
	平成31年 2月18日（月）	
ケアマネジメント連絡会	平成30年 5月16日（水）	各1人
	平成30年 7月18日（水）	
	平成30年 9月19日（水）	
	平成30年11月16日（金）	
	平成31年 1月16日（水）	
	平成31年 3月20日（水）	
大泉町内事業所合同研修会	平成30年 7月18日（水）	各3人
	平成30年11月16日（金）	
	平成31年 3月20日（水）	
介護支援専門員実務者研修	平成30年12月 6日（木）	2人
成年後見制度講演会	平成30年12月12日（水）	2人
難病患者療養支援実務者研修	平成31年 2月22日（金）	3人

3 地域活動支援センターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、地域において就労の機会等が得難い在宅の心身障害者に、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与等の支援を行いました。

さらに、保護者、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指し、ノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、障害者福祉の推進を図りました。

開 所 日 数	2 4 3 日
利 用 人 数	1 1 人 (男 5 人、女 6 人)
ボ ラ ン テ ィ ア 受 け 入 れ	作業協力、手芸作品制作指導、習字指導 1 1 7 人
運 営 委 員 会	2 回

(1) 日常生活に必要な社会性の訓練

利用者一人ひとりの特性や能力を的確に把握し、イベント等へ積極的に出店し、実習販売を行い、接客を通して社会性を身につけ、他者とのコミュニケーション能力の向上の支援を行いました。

また、商業施設での買い物を実施し、小遣い帳の利用により、金銭を扱う機会を設け、正しい金銭感覚を養うとともに、軽微な買い物は一人でもできるよう支援や外食や弁当購入なども実施し、自立生活にも結びつくよう支援しました。

観桜会・工場見学・外食等を実施・・・24回

(2) 職業適性の発見及び機能訓練

自主生産活動（野菜作り、お菓子作り）、衣類の脱着、洗濯や清掃などを通して、利用者の能力に応じた作業を見極め、個々の利用者にあった作業の発見に努め、必要な支援を行いました。

作 業 名	作業内容	作業収入額
ア ル ミ 缶 回 収	回 収 日 : 年 間 (隔 週) 回 収 地 区 : 7 地 区 (1 , 1 6 3 軒)	1 1 8 , 0 8 0 円
お 菓 子 製 造 販 売	お菓子製造 (クッキー・マドレーヌ・パウンドケーキ・チーズケーキ) 受注販売 委託販売 (パナソニック内3売店) 訪問販売 (SUBARU) イベント販売 (17回) 定期販売 (毎月10日、保健福祉総合センター)	2 , 9 7 2 , 7 6 0 円
畑 作 業 ・ 野 菜 販 売	野菜作り イベントや福祉まつり等販売	1 9 , 1 8 0 円
手 芸 品 制 作 販 売	さをり織りで手芸品製作 福祉まつり等販売	1 5 , 8 5 0 円

(3) 職業生活及び職業的自立の基礎的訓練

利用者1人あたり月額13,000円以上を目標に賃金支給できるよう援助を行いました。さらに、喜びと働くことの意義を理解できるよう支援するとともに、金銭を得る事の大切さを感じられるよう支援に努めました。

利 用 者 作 業 賃 金 平 均 額	1 8 , 4 2 9 円 / 月
---------------------	-------------------

(4) 家内工業的な授産指導

企業から支援をいただき、軽作業を受注し納期に収めることの意義や重要性を通して、責任感や達成感を得られるように支援を行いました。

作業名	作業内容	作業収入額
下 請 け 作 業	車部品の袋詰め (年間) 商業店舗駐車場除草 (5~9月)	205,720円

(5) その他独立自活に必要な指導訓練及び目的達成のため必要な事業

利用者の生活拠点は「地域」であるとの認識に立ち、地域社会との交流を通して、地域社会の一員として、自立して生活できるよう支援を行いました。また、お菓子・野菜販売の常設スペースを施設内に確保し、購入・注文の出来る場所を明確にしてほしいというニーズに応え、地域に広くアピールすることに努めました。

広報紙「花ことば」の発行	
発 行 月	4・7・10・1月
お菓子・野菜等の施設内常設販売	
販 売 日 時	毎週木曜日 午前10時～午後3時
納涼祭の開催	
開 催 日	平成30年7月26日 (木)
開 催 内 容	利用者、ボランティアによる演芸、模擬店、 ゲームコーナー等
協 力 団 体	保護者会、ボランティア団体、大泉保育福祉専門学校
総合訓練 (避難・誘導・通報・消火) の実施	
実 施 日	平成30年11月28日 (水)
消火・避難誘導訓練の実施	
実 施 日	平成31年3月5日 (火)

4 老人福祉センターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、高齢者の福祉を充実し、高齢者のための各種相談、健康の増進と教養の向上を図るとともに世代間の交流の促進に努めました。

また、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指しノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、高齢者福祉の推進を図りました。

(1) 高齢者のレクリエーション又は集会のための施設提供

高齢者が集える広間、教養娯楽室、入浴施設等を開放し利用者が交流する場を提供しました。

①開館日数・利用者数状況

単位：人

月	開館 日数 (日)	利用者数	内 訳			
			男		女	
			人 数	割合 (%)	人 数	割合 (%)
4	20	1,622	767	47.3	855	52.7
5	20	1,652	756	45.8	896	54.2

6	22	1,736	843	48.6	893	51.4
7	21	1,625	822	50.6	803	49.4
8	22	1,669	815	48.8	854	51.2
9	21	1,583	768	48.5	815	51.5
10	22	1,717	809	47.1	908	52.9
11	20	1,604	783	48.8	821	51.2
12	19	1,643	783	47.7	860	52.3
1	19	1,561	767	49.1	794	50.9
2	20	1,697	816	48.1	881	51.9
3	21	1,693	824	48.7	869	51.3
計	247	19,802	9,553	48.3	10,249	51.7

②機能回復機開放

利用回数	247回
内容	肩関節輪転運動器、歩行補助平行棒、肋木、フィットネスバイク、ベルトエクサ、ウォーキングマシン、椅子式マッサージ機、体重計、ヘルストロン、全自動血圧計
延べ利用人数	5,205人

(2) 高齢者の教養向上、健康増進のための事業

教養講座、健康増進講座として次の事業を実施しました。また、利用者サークル活動、クラブ活動の発表の場としてお楽しみ会を開催しました。

音楽健康教室	
開催日	4月より毎月第4土曜日 全11回(10月のみ休み)
開催内容	音楽を通じ介護予防認知症予防
講師	五家英子氏(音楽健康指導士2級)
延べ参加人数	376人
カラオケ大会	
開催日	平成30年 5月19日(土) 平成30年 8月18日(土) 平成30年12月 1日(土) 平成31年 1月19日(土)
延べ参加人数	188人
お楽しみ会	
開催日	平成30年 6月 2日(土) 平成30年10月20日(土) 平成31年 2月16日(土)
開催内容	利用者運営による発表と鑑賞
延べ参加人数	125人
将棋大会	

開催日	平成30年 6月14日～16日 平成30年10月25日～26日
延べ参加人数	14人
軽スポーツ大会	
開催日	平成30年12月6日(木)
開催内容	輪投げ大会
参加人数	70人
消費生活センター出前講座	
開催日	平成30年6月2日(土)
開催内容	契約についての基礎知識を学び消費生活についての意識を高めてもらう講座
参加人数	41人
いきいき美容教室	
開催日	平成30年8月30日(木)
開催内容	高齢者向け美容教室を開催し、介護予防及びADL(日常活動動作)の維持・向上を図るとともに、地域高齢者の交流並びに健康寿命の増進に貢献することを目的とする教室
参加人数	11人
おりがみ教室	
開催日	平成31年3月13日(水)
開催内容	脳の活性化を図るとともに地域高齢者の交流の場の提供と、お孫さんと一緒におりがみを楽しむことで、世代間交流の場を提供する教室
参加人数	17人
園児による祖父母の似顔絵作品展	
開催期間	平成30年9月1日～29日
開催内容	世代間交流の一環として館内に祖父母をテーマにした作品を展示
協力	えのきこども園(年長児)
癒しの湯の開催	
実施内容	りんご風呂:平成30年11月29日～12月1日(3日間) ゆず風呂:平成30年12月22日(冬至)

(3) 高齢者の生活相談、健康相談その他各種の相談

高齢者の生活相談、健康相談に応じるため、研修・研究し職員の資質、技術向上に努めました。

相談件数	35件(延べ35人)
------	------------

(4) 世代間ふれあい交流事業

高齢者と幼児のふれあいの場として、次の事業を実施しました。

敬老のつどい	
開催日	平成30年9月15日(土)
開催内容	舞踊ショー・舞踊劇
参加人数	58人

(5) センターの施設及び設備の維持管理に関する事業

施設及び設備の適正管理に努めました。

自主防災訓練の実施	
実施日	平成30年7月5日(木) 平成31年3月15日(金)
参加人数	約20人

(6) その他センターの目的を達成するために必要な事業

利用しやすい環境づくりに努めました。

- ・意見箱の設置

5 心身障害者等デイサービスセンターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、町内に居住する、既存の授産施設、地域活動支援センター等への通所が困難な在宅の重度心身障害者に、日常生活に必要な基本的な生活習慣の訓練、並びに機能訓練及び入浴サービス等の支援を行い、その介護を行う家族等の負担を軽減することを目的とし運営を行いました。

また、利用者個々のQOL(生活の質)を高め、豊かな人間関係の形成と、実りある人生の確立を支援しました。

さらに、保護者、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指しノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、障害者福祉の推進を図りました。

開所日数	242日
利用人数	7人(男4人、女3人)
運営委員会	2回

(1) 日常訓練・機能回復訓練

利用者の障害特性によって必要な支援目標を立て、集団における支援の場を確保し、体力の維持、増進を図りました。

- ・公園散策・外食会等の実施・・・30回
- ・調理実習の実施・・・・・・・・・・毎月1回

(2) 養護

家庭介護の負担軽減と、衛生的で健康的な生活ができるよう、入浴サービスや散髪同行サービスなどを実施しました。また、実施にあたっては保護者からの意見や要望等を考慮し、利用者の体調に十分配慮し、入浴希望については、利用回数などの制限は行わず、可能な限り希望に沿うようにサービスを提供しました。

入浴サービス

実 施 日	毎日（金曜日を除く）
延 べ 利 用 人 数	285人
散髪引率サービス	
実 施 回 数	8回
延 べ 利 用 人 数	13人
延長ケア（朝：8時30分～9時、夕：16時～17時）	
利 用 総 時 間	131時間45分
延 べ 利 用 人 数	135人

(3) その他センターの目的を達成するために必要な事業

地域社会の中の施設として社会的役割を果たすことに努めました。

広報紙「花ことば」の発行	
発 行 月	4・7・10・1月
納涼祭	
開 催 日	平成30年7月26日（木）
開 催 内 容	利用者、ボランティアによる演芸、模擬店、ゲームコーナー等
協 力 団 体	保護者会、ボランティア団体、大泉保育福祉専門学校
総合訓練（避難・誘導・通報・消火）	
実 施 日	平成30年11月28日（水）
消火・避難誘導訓練	
実 施 日	平成31年3月5日（火）

6 地域包括支援センターの運営 ※大泉町委託運営

大泉町より委託を受け、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、認知症総合支援事業、介護予防事業等を実施しました。

なお、事業の推進においては、地域住民、行政、ケアマネジャー、サービス事業者、民生委員、地区社協等、フォーマル及びインフォーマルなサービス関係者等によって構成される人的ネットワークを構築するよう努めました。

また、地域包括支援センターの保健師、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、認知症地域支援推進員がそれぞれの専門性を生かしながら、チームアプローチで支援することにより、迅速かつ効果的な支援を提供しました。

(1) 総合相談事業

地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を受理し、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、フォローするとともに、必要に応じて地域包括支援センターの業務に継続していくといった、地域包括ケアとしての継続支援の入り口となるよう努め、相談からサービスの調整までワンストップサービスが展開できる拠点としての機能を持つよう努めました。

また、地区社協、民生委員、介護保険事業所など地域における様々な関係者とのネットワーク構築に努め、高齢者の持つ課題が解決へと結びつくよう支援体制を構築に努めました。

相談件数

来 所	電 話	訪 問	その他※	合 計
367件	2,546件	1,288件	313件	4,514件

※FAX、メール、他の場所

地域ネットワークづくり講座	
内 容	地域の高齢者が地域貢献のために活動している姿を披露し、高齢者が介護状態や認知症になっても住みやすい地域になるよう地域づくりにつなげていく
実 施 回 数	9回
延 べ 参 加 人 数	103人
備 考	平成30年12月5日(水)に認知症サポーター養成講座において寸劇発表を行いました。

(2) 一般介護予防事業

介護予防や認知症予防のための訪問指導や介護予防教室等を開催しました。また、地域において介護予防、認知症予防に関する住民主体の活動が効果的に展開されるよう人材の養成や、活動支援を実施しました。

①介護予防事業

音楽療法教室	
内 容	音楽を通じ介護予防認知症予防
実 施 回 数	9回
延 べ 参 加 人 数	192人
脳活げんき講座	
内 容	脳トレーニングを通じ介護予防認知症予防
実 施 回 数	2回
延 べ 参 加 人 数	34人
介護予防「ほっとカフェ」	
内 容	交流の中から精神的なつながりや生きがいがづくり
実 施 回 数	12回
延 べ 参 加 人 数	286人
介護「よぼう仙人」スクール	
内 容	ヨーガ療法・介護予防体操・リズム・漢検教室を行い知識や技術を学ぶ場を提供し介護予防への意識の向上や閉じこもり予防
実 施 場 所	保健福祉総合センター
実 施 回 数	各教室14回(リズム教室7回)
延 べ 参 加 人 数	894人

介護予防基礎教室		
内 容	介護予防と口腔衛生の正しい基礎知識	
実 施 場 所	保健福祉総合センター	
実 施 回 数	7回	
延 べ 参 加 人 数	89人	
シニアが主役！寸劇講座		
内 容	演劇に関する基本的な知識や技術を学ぶことで生きがいを感じ、自身の介護予防	
実 施 回 数	15回・スキルアップ3回	
延 べ 参 加 人 数	160人	
備 考	平成30年5月29日(火)認知症体験者養成講座・9月12日(木)認知症介護講演会において寸劇発表を行いました。	
ステップ・アップ健康ダンス講座		
内 容	楽しく体を動かし、音楽に合わせて簡単なヒップホップダンス	
実 施 場 所	保健福祉総合センター	
延 べ 参 加 人 数	26人	
体力測定会		
内 容	介護予防について意識の向上、介護予防教室や自主グループ活動の啓発と活性化	
実 施 場 所	保健福祉総合センター・ふれあいセンター寄木戸・ふれあいセンター北小泉・いずみの杜	
実 施 回 数	5回	
延 べ 参 加 人 数	294人	
元気づくり栄養講座		
実 施 日	平成31年3月5日(火)	
内 容	「100歳まで自分で歩ける体を作る！栄養のコツ」	
講 師	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科 教員 管理栄養士 町田 大輔 氏	
実 施 場 所	大泉町公民館 ホール	
延 べ 参 加 人 数	59人	
介護予防把握事業		
内 容	75歳になる方を基準に訪問により介護予防推進	
延 べ 訪 問 人 数	882人	
介護予防手帳配布		

内 容	介護予防事業参加者対象に配布
配 布 人 数	303人
地域自主グループ活動支援	
内 容	薬剤師派遣や職員による体力測定、認知症講話を通し介護予防、認知症予防
実 施 回 数	5回
実 施 グ ル ー プ 数	4グループ
延 べ 参 加 人 数	79人
介護予防サポータースキルアップ研修	
【第1回】	
実 施 日	平成30年5月7日(月)
実 施 内 容	「応急手当(心肺蘇生・AED取扱等)」
講 師	大泉消防署員
対 象	介護予防サポーター養成研修(初級・中級)修了者
実 施 場 所	大泉消防署
参 加 人 数	16人
【第2回】	
実 施 日	平成30年11月26日(月)
実 施 内 容	「演劇に学ぶ!元気ハツラツの方法」
講 師	おおた芸術学校附属劇団卒団生 川島 麻菜美 氏
対 象	介護予防サポーター養成研修(初級・中級)修了者
実 施 場 所	大泉町公民館 ホール
参 加 人 数	27人
【第3回】	
実 施 日	平成31年1月23日(水)
実 施 内 容	自分の最後は自分で決める ～人生のしまい方・どう生きていくか～
講 師	館林記念病院看護部長 世鳥山 恵美子 氏
対 象	介護予防サポーター養成研修(初級・中級)修了者
実 施 場 所	保健福祉総合センター
参 加 人 数	53人
初級・中級介護予防サポーター養成研修	

実施回数	4日間×2回
実施内容	初級・中級介護予防サポーターの養成研修
実施場所	保健福祉総合センター
延べ参加人数	182人（初級74人、中級39人）
介護予防サポーター情報交換会	
実施回数	3回
実施内容	介護予防サポーター間の情報交換と連携
実施場所	保健福祉総合センター
参加人数	56人

②介護予防プラン作成（平成31年3月末実績）

作成人数（3月実績）・・・290人（直営79人・委託211人）

延べ作成件数（平成30年3月～平成31年2月）

3,504人（直営914人・委託2,590人）

③介護予防サポーター登録者数

中級・・・・・・・・180人

上級・・・・・・・・56人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジャーが包括的・継続的なケアマネジメントを実施することが必要であり、その実践を可能とするため、環境整備とケアマネジャーへのサポートを行いました。

①医療福祉連携合同研修会

【第1回】

実施日	平成30年5月22日（火）
実施内容	「説明力・説得力向上研修」
講師	(株)話し方教育センター 千名 友貴 氏
対象	町内および近隣のケアマネジャー並びに近隣市町の医療機関、その他関係機関職員
実施場所	保健福祉総合センター
参加人数	49人

【第2回】

実施日	平成31年1月16日（水）
実施内容	「高齢者虐待」
講師	群馬県社会福祉士会 内山 恵子 氏
対象	町内および近隣のケアマネジャー並びに近隣市町の医療機関、その他関係機関職員
実施場所	保健福祉総合センター
参加人数	51人

②ケアマネジメント研修会

【第1回】

実 施 日	平成30年8月23日（木）
演 題	「介護予防ケアマネジメントの考え方」
講 師	職 員
対 象	町内及び隣接の市町村のケアマネジャー（包括委託先事業所対象）
実 施 場 所	保健福祉総合センター
参 加 人 数	27人

【第2回】

実 施 日	平成31年2月18日（月）
演 題	「透析・腎臓病・糖尿病患者の在宅ケアのポイント」
講 師	おうら病院 医師 駒井 實 氏
対 象	町内及び隣接の市町村のケアマネジャー（包括委託先事業所対象）
実 施 場 所	保健福祉総合センター
参 加 人 数	22人

(4) ケアマネジメント連絡会

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるためには、ケアマネジャーが包括的・継続的なケアマネジメントを実施することが必要であり、その実践を可能とするため、環境整備とケアマネジャーへのサポートを行いました。

実 施 日	隔月第3水曜日（年6回）
実 施 内 容	ケアマネジャーの情報交換やケアマネジメントの資質の向上と連携の強化
対 象	町内ケアマネジャー
延 べ 参 加 人 数	87人

(5) 権利擁護事業

認知症などにより判断能力が十分でない人の財産管理や、日常生活での様々な契約を行うための成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用支援を行いました。

また、複雑な課題を抱えた高齢者に対し、課題解決に向けた支援を検討・実施しました。高齢者虐待を把握した場合には「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」（通称：高齢者虐待防止法）に基づき、町担当課と連携し、対応しました。

さらに、高齢者の消費者被害の防止のため、町の消費生活センターや警察等と連携し、必要な予防対策や支援を行いました。

- ①消費者被害相談件数・・・3件
- ②虐待対応件数・・・・・・8件
- ③成年後見制度、日常生活自立支援事業に係る相談件数等
相談件数

成 年 後 見 制 度	3件（延べ）
日 常 生 活 自 立 支 援 事 業	125件（延べ）

※日常生活自立支援契約件数 16件

④成年後見制度研修会

実 施 日	平成30年12月12日(水)
演 題	「成年後見制度について」
講 師	弁護士 星野 啓次 氏
対 象	一般町民
実 施 場 所	文化むら 小ホール
参 加 人 数	49人

(6) 認知症総合支援事業

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるよう、関係機関との連携構築に努めるほか、認知症の人やその介護者への相談支援業務を行いました。

認知症相談	
相 談 件 数	106件
認知症サポーター養成研修	
実 施 回 数	3回
実 施 内 容	認知症についての講話及び対応事例寸劇
延 べ 参 加 人 数	404人
認知症キッズサポーター養成講座	
実 施 期 日	平成30年6月11日(月) 午後2時00分～2時45分
実 施 場 所	大泉町立南小学校 体育館
対 象 学 年	6年生 2クラス
参 加 人 数	96人
オレンジカフェひだまり開催(認知症カフェ)	
実 施 回 数	12回
延 べ 参 加 人 数	118人
認知症介護講演会	
開 催 日	平成30年9月12日(水)
開 催 内 容	① 「私の祖母は空気の読めない天才でした」 ② 寸劇「はじまり」
講 師	① 築瀬 寛 氏(株式会社GOBOU代表取締役) ② 劇団☆ASHITA
実 施 場 所	公民館ホール
対 象	一般町民

参加人数	76人
認知機能評価支援システム「タッチエム」	
内容	タッチパネル式パソコンを使用し、頭の元気度として評価し、それにより認知症の予防や早期発見に役立てる
実施人数	120人

(7) 普及啓発事業

①職員による講演

実施回数・・・4回
 延べ参加人数・・・85人

②保健福祉まつり（地域包括支援センターのブースを設置）

内容 自主グループ活動ビデオ上映
 パネル展示・パンフレット配布・タッチエム体験を実施

7 生活困窮者自立相談支援事業 ※群馬県社協委託事業

群馬県社協の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業の邑楽郡5町の支所社協として、関係機関との連携を図り、相談者に対し仕事や住まいの確保などの援助を行い、安定した生活が送れるよう、自立に向けた支援を行いました。

生活困窮者自立支援事業担当者研修会等へ参加

開催日	開催内容
平成30年4月18日（水）	高津戸荘 施設訪問・見学
平成30年5月25日（金）	館林地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
平成30年9月27日（木）	ひきこもり支援関係職員研修

生活困窮者自立支援事業の相談、支援

相談件数・・・171件

	大泉町	邑楽町	千代田町	明和町	板倉町
電話	41	17	10	26	0
面談	35	11	8	7	1
その他	11	0	0	4	0
計	87	28	18	37	1

支援件数・・・404件

	大泉町	邑楽町	千代田町	明和町	板倉町
訪問・同行支援	26	10	2	34	1
他機関との会議	1	1	0	9	1
他機関との電話照会・協	60	31	31	133	7
その他	15	6	1	35	0
計	102	48	34	211	9

支援調整会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7回

生活困窮者自立相談支援機関情報交換会・・・・2回

- 支所社協相談支援員連絡会議・・・・・・・・・・ 9回
- 郡内民生委員児童委員協議会への事業説明・・・ 5回

8 その他福祉事業の推進

(1) 日本赤十字社事業への協力

日本赤十字社は、災害救護や国際救援などの活動を行うために、会費・赤十字活動資金と寄附金を財源として活動を行いました。

日本赤十字社の会費は、住民の安全と健康及び福祉の保持、あるいは防災、罹災者の救護等の面で活用されました。

① 会員・会費募集への協力

- 収 納 会 議 1回
- 会 費 総 額 5, 281, 500円
- ※日本赤十字社群馬県支部へ送金

② 献血事業への協力

- 実 施 回 数 2回
- 献 血 人 数 受 付 者 56人 採 血 者 45人

③ 義援金受付（平成31年3月31日現在）

東日本大震災募金（総額）	17, 884, 461円
熊本地震災害義援金（総額）	4, 105, 424円
平成30年7月西日本豪雨災害義援金	2, 803, 898円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	558, 353円
平成30年大阪府北部地震災害義援金	24, 997円
平成29年九州北部豪雨災害義援金	2, 258円

※日本赤十字社を通して被災地へ送金

④ 大泉町防災フェアへの参加

実 施 日	平成30年8月26日（日）
実 施 内 容	こども救護体験教室・防災クイズ・避難所体験等
参 加 人 数	354人

⑤ 日本赤十字社群馬県支部大泉分区事務局として協力

(2) 共同募金運動事業への協力

共同募金運動は、赤い羽根をシンボルマークとして地域住民や学校・企業等で募金をお願いし、高齢者や障害者に対する福祉の充実、子育て支援活動、地域福祉活動の啓発や推進に努めました。

① 一般募金への協力

運 営 委 員 会	1回
配 分 審 査 委 員 会	1回
収 納 会 議	1回
募 金 啓 発 グ ヅ 作 成	大泉町オリジナルピンバッジ (赤い羽根・サンバぐんまちゃんコラボレーション)
イ ベ ン ト 募 金	2回（環境フェスティバル、町民体育祭会場）
募 金 実 績 額	3, 940, 608円

※群馬県共同募金会へ送金

②歳末たすけあい募金への協力

事前会議	1回（社協正副会長、民協正副会長、地区社協正副会長及び監事、福祉課、社協事務局）
社協・民協合同会議	1回
募金実績額	3,227,124円

※群馬県共同募金会へ送金

③保健福祉まつりへの参加

平成30年11月18日（日）共同募金啓発ブース設置

④群馬県共同募金会大泉町支会事務局として協力

（3）その他の福祉事業への協力

本会の目的達成のため、協賛や後援事業など積極的に取り組んでいます。

①後援事業

大泉町高齢者・身体障害者スポーツ大会

大泉町文化むら平成30年7月豪雨災害チャリティーコンサート

大泉町文化むら大衆演劇

SUBARU 労連クリスマスチャリティー公演

大泉町ぐるみ人権教育推進大会